

あ・うん

金剛禅総本山少林寺広報誌

vol.
14

2011 睦月・如月

慶春

新年明けましておめでとうございます。
いよいよ今年、開祖生誕100年を迎えます。
私たち一人ひとりが、自らの志を持ち、共に金剛禅運動
に邁進していきましょう。

金剛禅総本山少林寺代表 浦田武尚

美作市市長・代表対談
開祖生誕地を訪ねて

開祖生誕地を訪ねて

組織機構改革が本格的にスタートする2011年は、開祖生誕100年にあたる。その記念すべき新春企画として、今号は、安東美孝美作市市長と浦田武尚金剛禅総本山少林寺代表の対談を特集する。なお、4月には美作市で開祖生誕100年のイベントが予定されている。

原点の地

代表 市長とはもう何度かお会いさせていただいて、その中で何か一緒にイベントをとという話が出てきました。

市長 そうですね。初めてお会いしたときは、まだ私が副市長だったときでしょうか。お恥ずかしいことですが、私は2005年に6町村合併で美作市みまさかになるまで、ここが少林寺拳法の開祖生誕の地とは知りませんでした。代表からいろいろとお話をおうかがいして、少林寺拳法と美作市は深いつながりがあることを知りました。そして、少林寺拳法グループ総裁の著書などを読ませていただき、これは単なる武道じゃない、すばらしい人間修養の道だと思いました。ぜひともこれは、開祖生誕100年のイベントはこの地で盛大に、と勝手ながら思っています。

代表 それは大変嬉しく有り難く思います。開祖が少年時代を過ごしたこの

地は、将来の性格を形づくる下地をつくったふるさとです。多くの拳士の皆さんにぜひこの地を訪ねて、知ってもらいたいと思っています。

開祖自身がいていましたが、決して恵まれた境遇で育ったわけではありませんでした。幼いときに父親を亡くし貧しい生活でしたが、家族を思いやる心を忘れなかった。わんぱくで正義感が強いうえ、妹たちの面倒をよく見る優しい少年だったそうです。ところが、15歳のときに母親を、続いて幼い妹たちも次々と亡くします。開祖は、自分に力がなく、親孝行できなかったことが生涯悔やまれるといわれていました。その後、開祖は中国大陸に渡り、そこで敗戦を迎えます。そのときの体験から「すべては人の質にある」と悟り、祖国復興のために青少年育成に取り組むという志を立てました。

今年、開祖生誕100年を迎えて、改めて開祖の志とは何かを問い直して

います。今は強い信念を持たなくても生きられる社会かもしれません。が、町を豊かにしようとか、世界平和のために、という大きなことは、志がなかったらできません。開祖の志を思うとき、やはり原点はここ生誕の地にあると思っています。その意味で、4月は、開祖ご母堂様、妹様墓石記念碑・憩いの場の除幕式と少林寺拳法まつり、そしてShorinjiempo-meeting in 美作を成功させたいと思っています。

市長 そうですね。ぜひ、美作市民の方にも、この地から「半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを」という偉大な精神が生まれていることを知っていただきたいと思っています。

まちづくりは人づくり

市長 私が子供のころは、貧しかったけれども、地域ぐるみで子育てをしていました。ところが今は、悪いことをした子を叱しかると、その親が怒ってくる

という時代です。どこでどう間違えたのだろうと思うのですが、だからこそ少林寺拳法の教えは、今の子供の教育にも非常に役立つと感じています。

代表 そうですね。やはり親が変わらないと子供は変わりません。子供は親の背中を見て育つというのは、いつても変わらないと思っています。

少林寺拳法は、名前に「寺」と入っているように、金剛禅総本山少林寺に伝承する宗門の行です。護身練胆、精神修養、健康増進の三徳を兼ねる少林寺拳法の修行を通して、まず拠より所となる自己を確立し、そのうえで、半分は他人の幸せを考えて行動できる人間になろうと説いています。その前提にあるのが「人は変わる可能性を持った種子である」という考えです。それは、開祖自身の経験に基づいた真理ともいえます。

事実、開祖がたった一人で興した金剛禅が、志を持った若者の活躍で燎りよう



金剛禅総本山少林寺
代表 浦田 武尚



美作市
市長 安東 美孝

2011年10月14日
美作市役所作東総合支社にて
担当／山下 真由美

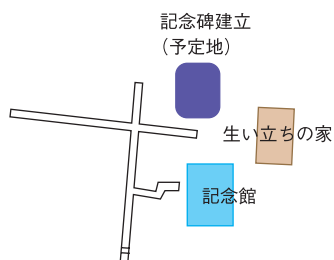
開祖宗道臣
ふるさとマップ



美作市少林寺拳法記念館や生い立ちの家は、宿泊や休憩で利用することができる。約300メートルのところに体育館、テニスコート、多目的グラウンド、プールを完備した作東B&G海洋センターもある。



少林寺拳法記念館と開祖銅像



開祖ご母堂様、妹様墓石記念碑・憩いの場(岡山県美作市)イメージ



げん
原の火のように広まり、今では世界34
か国のべ170万人といわれる大組織
になりました。開祖は「美田や財産は
残さないが、仕事は残しておく」とよ
く話していました。

市長 財産ではなく仕事を残す、いち
ばん大事なことです。まして、自ら
が何かをやるうという志を遺された。
代表 ええ、そのお陰で、こうして市
長とお会いでき、また老若男女、たく
さんの方に、縁あって出会えました。
すばらしいことだと感謝しています。
開祖の仕事を残すというのはこういう
ことなのだと思います。

市長 そうですね。作東道院を見ると、子供たちがとても生き生きとしています。また、送り迎えに来るお母さん方もよい顔をされている。こじんまりとした小さい道場ですが、とてもいい雰囲気だなあと思いました。また、道院長の稲尾正巳さんが、少林寺拳法の指導を若者に任せて、見学の若いお母さん方を集めて、稲尾さん流でお母さん教育している。ああ、こういう方法もあるのだなと思いました。

いちばん大事なのは、人の心だと思っています。人づくりはまちづくりにはなりません。少林寺拳法の理念

に共通したものを感じています。

代表 美作市のまちづくりには、少林寺拳法の人づくりでお役に立てるのでしたら、ぜひ今後も利用していただきたいと思います。

我々にとつて望外の喜びですし、それが少しでも開祖への恩返しになるのではと思っています。

それにしても、ここ美作市は、山紫水明という言葉がびたりと当たる、美しい地ですね。

市長 田舎には田舎のよさがあります。4月のイベントでは、精一杯のおもてなしをしていきたいと思います。

代表 よろしくお願い申し上げます。

2010年度少年部指導講習会 現場の要望に添った プログラムを展開

11月13、14日の2日間にわたり、本山において少年部指導講習会が行われ、102人の拳士が全国から集まった。

本講習会の柱となるプログラムは、準備体操の紹介と発達障害がい児童に関する特別講演である。いずれも今年度、道院長研修会で行われた少年部指導に関するアンケートで要望が多かったものである。

準備体操の紹介では、毎回同じ内容になり、子供たちが飽きてしまうということから、音楽を使用したりゲームを取り入れたりすることにより、飽きさせ



ることなく楽しみながら基礎体力や運動能力の向上を図れるものが紹介された。受講者からは早速、道院に持ち帰って行いたいとの感想が多数あった。

特別講演は、現役の小学校教諭であり、発達障害がい児童の教育に携わっている小野隆行氏を招いて行われた。社会的に関心の高いテーマであることから、拳士以外の方も聴講できるよう一般開放し、20人近い教育関係者などが集まった。講演は好評の内に終了し、質疑応答でも活発な意見交換が交わされ、時間が足りないほどであった。

また、地元の少年部拳士を門下生役として少年部委員による指導の実演を行うとともに、グループごとに分かれて課題を設定し、少年部拳士への指導技術の研究が行われた。その他のプログラムにおいても、受講生の熱心な姿勢が特徴的であった。

今後も本山では、少年部指導における問題点や課題の調査を行い、現場の要望に沿ったプログラムを展開して、少年部指導者の資質向上と少年部拳士の育成を図っていく。来年度もぜひ、多くの拳士に少年部指導講習会に参加していただきたい。

(富田雅志)

大阪阿倍野道院 50周年を祝う会

大阪阿倍野道院設立50周年を記念して夏の帰山に続いて「設立50周年を祝う会」が11月7日にホテルアウイナ大阪にて開催されました。当日は設立当時からご縁がありました来賓の方々から少年部の拳士、保護者の方々まで約140人の出席があり盛大に行われました。

オープニングでは中国遼寧省ご出身で全国古箏コンクールに優勝後、来日されご活躍の戴茜氏の心に染みる古箏の演奏に聞き入り、続いて大北浩士大阪府教区長、大阪府少林寺拳法連盟理事長にご挨拶頂き、開会となりました。

また、全日本武術太極拳選手権大会で連続優勝を飾られている甚野益子氏による、楊式太極拳の演武の流れるような動きにも感動しました。

会場の正面には孔子の論語より、「三十而立」「四十而不惑」「五十而知天命」の言葉、そして「今後発展追究理念」のすばらしい書が掲げられ、正に人の人生の歩みと同じく大阪阿倍野道院が今日に至る歩み、美田暢紀道院長が先代の故・美田雅章先生



より引き継がれ、道院長代務になられてからの10年間、そして今後の大阪阿倍野道院の進んでいく未来を想い、気持ちを新たにしました。

会は終始和やかに進み、戸田裕之佛教大学少林寺拳法部監督による演武、50年の歩みの映像紹介の後、美田道院長の謝辞にて、閉会となりました。道院長をはじめ、拳士、保護者の方々の「祝う会」を成功させたい思いが一つになったのを実感できた一日でした。

(新開明)

石川大聖寺道院

ダーマって何？

宇宙の根本実相、宇宙の大霊力……と小さな子供に話をしても頭の中は？？？ 大人でも難

しいことを、北陸でも唯一我が家にある不思議な果物「ミラクル・フルーツ」を使い、9月27日、不思議な体験を通してダーマ学習を試みました。

題して「ミラクル・フルーツの不思議体験」。ミラクルの実は、ドングリぐらいの小さな果物ですが、それを食べた後、酸っぱいレモンを食べるとどうなるのか、さあ実験開始。拳士や保護者の皆は期待と不安のまま実を口にした後、今度はレモンを恐る恐る食べてみる。すると、あっちこっちで「えっ！うそ！、本当に？」。酸っぱいはずのレモンが甘いオレンジに変身していました。次々とレモンのお代わりをする拳士と保護者、そこでこんな小さな実がなぜこんな不思議なことができるのだろうか？ 決して目には見えないけれども感じることできる、宇宙の大きな働き(霊力)の存在、この自然の大きな力「ダーマ」、そして「ダーマの働き」を説明しました。この不思議体験を通じて、一人ひとりが何かを感じ取ってくれることを願っています。最後にこの不思議体験にあたり、お世話になりました宮崎県の岡本政敏様に感謝いたします。

(大家正己)



心外無法

西のノーベル賞と称される京都賞。毎年6月に受賞者の決定があり、11月に国立京都国際会館で受賞記念講演会が開催される。私の門下（か）に思想・芸術部門の選考（か）に関わる拳士（けんし）がいた縁で2002年から毎年受賞講演を聴講させていただいているのだが、03年に思想・芸術部門で受賞された、日本を代表する古典演劇「文楽」の人形遣いであった吉田玉男氏（06年没）の講演が印象に残っている。

文楽の人形は、面遣い（おもづか）、左手遣い、足遣いの三人が三位一体となり人形に魂を吹き込む。文楽は世界で最も高度で洗練された人形劇と称賛され、この人形遣いの修行は正に行である。

弟子になることを許されると、見習いから次に、足遣い、左手遣い、面遣いと順に格が上がっていくのだが、足遣いは当初「足持ち三年」といって椅子に座った状態が続く演目で、静止したままで足だけを持つている役を何年もしなければならぬ。足持ちだけなので新米でもできるのだが、緊張感や下から手で受けて足を動かさずに持っているだけの役どころの中で、

面遣いや左手遣いの息遣いまでを自得する。言葉はなくても伝える側と伝わる側との心が一致するのである。そして、このように漸々修学し、左手遣いまで昇格すれば、後はチャンスさえあればもういつでも面遣いができるという。習わずとも自然に自得し、その心も同時に学ぶのである。

我々の修める法も同じではないだろうか。深く想い（おも）、開祖の志を息遣いで感じ、それをまた息遣いで伝えることによってそれぞれの中に自然に法が芽生え育つ。心は宇宙と同様に無限の広さがあり、その奥深くまで思うことによって心の中の法を通して先師（せんし）に繋（つな）がる。心外無法（しんげむぼう）、それぞれの心にもともと法がある。それを自覚するのは自分自身しかない。

「はなたれも次第（しだい）送り」。最初は何もわからないはなたれ小僧でも時を得れば自らが自得ししっかりとってくるものである。「くどくと言わずとも次第に一人前になる」。伝える側がぶれていなければ、次第送りで伝わる。氏の言葉は、指導者の基本姿勢であると自戒する。

開祖語録 ダイジェスト

1977年8月28日

昇格考試受験者への法話

君は今いくつか。

——12歳です、

12歳か、うん。

私は7歳のときに父親が死んだから、家は貧しくてね。お母さんと妹二人と私とが残されて、食べるものもろくに食べられなくて、ずいぶん苦労して生きてきた。それでも、今考えるとね、そういう生活でも決してつらいことはなかった。なぜなら、父親はいなくても、母親と妹たちと心をつなにして、お互いが体を寄せ合うようにして、一生懸命生きてきたからです。君は今中学生か、何年だ。

——3年です。

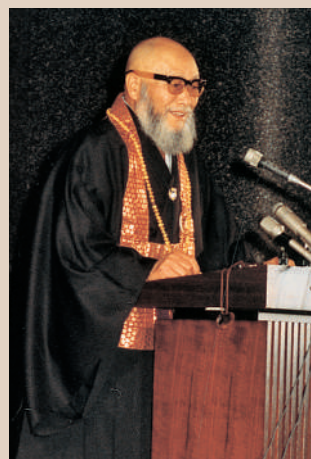
私は15のとき母親が死んだ。

妹二人を抱えて、財産がなく、君、どうやって食っていく？

それでも私はどうにか切り抜けて、今日まで生きてきた。泣いたって、わめいたって、死んだものは死んだんだ。もういいんだ。いちばん大切なことは、明日があるか、ないかではないんだよね。とにかく今日生きていく。明日も生きなきゃいけない。そのためには今、一生懸命生きることです。

そうやって私は子供のときから生きてきた。生きていくかぎりには負けたんじゃない。今日までそれが続いているから、人が集まってくれてこの少林寺拳法の発展があるのだと思う。

生きていくかぎりには負けたんじゃない、一生懸命生きる



2010年10月度 認証

●新設		三田南道院	上浦 敏史	流山道院	國吉 衛	大阪福島道院	吉野 有紀
前橋橋道院	佐藤 靖宜	島原有明道院	中島 良平	久里浜道院	鈴木 大資	大阪三市市道院	古谷 貴紀
群馬富岡道院	市川 勝彦	鹿児島種子島宝来道院		各務原道院	伊藤 信雄	大阪新淀川道院	中島 章詞
群馬北毛道院	樋口 雅人		西田 薫	兵庫市川道院	庄坪 俊明	六甲アイランド道院	
武蔵浦和道院	堀江 誠	鹿児島南道院	村松 輝久	駿東長泉道院	北村 光之進		栢森 秀明
富山婦中道院	高島 英雄			遠州竜洋道院	鈴木 和夫	和歌山吉備道院	栗栖 誠
名古屋中村道院	平野 昇	●道院長交代		名古屋森孝道院	奥谷 成弘	広島北道院	富部 辰治
愛知田原道院	立岩 弘	会津若松道院	須藤 秀一	半田東道院	平田 武雄	八女道院	中尾 博
富田林東道院	西山 和彦	埼玉北浦和道院	梶谷 憲皇	滋賀安曇川道院	杉島 隆	熊本銀杏道院	春口 敬介
箕面北道院	野口 恒	埼玉平方道院	中田 美稔	東大阪中央道院	横田 裕	日向南道院	黒木 啓一

僧階昇任者

大導師	2010年10月1日付	渡辺 昌宏(大阪藤阪道院)	今泉 亮治(秩父道院)
2010年10月31日付	飯田 昌一(秦野道院)	田中 聡範(倉敷真備道院)	小暮 紘一郎(埼玉深谷道院)
松本 智一(熊谷道院)	伊藤 哲夫(浜松蒲道院)	福山 勝浩(鹿児島串木野道院)	山口 達雄(京都智恵光院道院)
中導師	児玉 靖(刈谷北道院)	2010年10月31日付	渡辺 昭彦(西宮今津道院)

お布施

▷岡山中央道院 小池 孝忠	150,000円	▷滋賀瀬田道院 渡辺 浩志	10,000円
▷東松山道院 倉田 健治 拳歴50周年記念	50,000円	▷流山北道院 渡部 晶彦	10,000円
▷京都智恵光院道院 中野 人忍	20,000円	▷大阪河南道院 浅野 隆幸	10,000円

1月の本山行事

4日(火) 仕事始め

9日(日) 新春法会

28日(金) 道院長資格認定研修会

2月の本山行事

20日(日) 定例昇格考試・帰山・認証式

一般科目表改定のお知らせ

一般用「金剛禅級拳士科目表」「金剛禅有段者科目表」(各税込み250円)を発行しました。少林寺拳法連盟事業部にてお求めください。

なお、6級から三段の昇格考試は2011年4月より、新科目表に基づいて新しい試験制度で行います。

四段以上の特別昇格考試に限り、2012年3月末日までは、宿題、学科審査、技術審査、面接審査のすべてを現行どおりで実施し、新制度は2012年4月より適用します。

1. 一般科目表改定の要点(必ず確認してください)

- ①基礎科目および法形を、系統を考慮して再配置した。
 - ・基礎を重点的に学ぶ期間として6級から4級を新設した。
 - ・1級までに基礎となる科目を重点的に配列し、初段の履修科目を少なく設定することで、初段を級拳士の総復習として位置づけた。なお応用技、変化技などは二段以上で履修する。
- ②少年科目表と一般科目表の履修科目のずれを補正した(一部例外科目あり)。
- ③五段科目で羅漢圧法の一部を加えた。(主に正中線上の急所を攻める圧法)

2. 新試験制度の主な変更点(必ず確認してください)

- ①法形(抽出科目)は左右共に審査を行う。
- ②規定組演武は構成ごとに攻守を変え、6構成とする(大会での組演武の形式に準じる)。
- ③運用法の実施年齢を現行より10歳引き上げ、49歳までを対象とする。

報告 財産引渡請求事件訴訟について(一宮事件)

道院での金銭問題について責任ある対処をせず別団体活動を開始した、元一宮道院道院長 都竹昭二氏(2007年5月26日付にて破門)に対し、各種礼録の未納分・道院運営費の不正流用分や使途不明金の返還、受験料の過剰徴収にかかわる損害賠償などを求めた財産引渡請求事件訴訟が、2010年11月1日に、裁判上の和解により終結しました。

和解条項には、都竹氏が、本山に対し金銭の支払い義務があることを認めること、少林寺拳法の標章、商標および技法名を使用しないことなどが記載され、当方の主張が十分に認められる勝訴的内容となりました。

【問い合わせ先】

金剛禅総本山少林寺 法務部 TEL.0877-33-1010 内線141

【事件経緯】

本山は、元一宮道院において受験料の過剰徴収の問題が発覚したことから、当時道院長を務めていた都竹昭二氏より事情を聴取し、金銭の取り扱いに関する調査を行いました。その調査の過程で道院運営費に不明瞭な支出が判明したことから、本山は、会計監査を行う旨再三通告しました。しかし、都竹氏はこれに応じず別団体の活動を開始したため、本山は都竹氏を破門処分としました(財団法人 少林寺拳法連盟からは除名処分となりました)。

本山は、処分後も、引き続き都竹氏に対し申し入れを行うなど責任ある対処を求めましたが、都竹氏から一切の回答がなされなかったため、前記財産の返還などを求めて、07年10月に高松地方裁判所丸亀支部へ提訴しました。



宗務局長 田村 明

vol.14 優しさ

清風

優しさとか誠実とかは自分に対してではなく、自分以外の人や物に対して行うものである。気持ちを持って心を込めて他人と接する、物を取り扱う。

知性・理性(魂)が本能(魄)を制御しながら、人としての生きる道をつくっていく。恐らくそれが大人の生き方というものではないだろうか。金剛禪という「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」は、自らのことを考える、自らを大切にすることだけでなく、自分をコントロールできるのかを考えることが必要なのであろう。

コントロールとは、正に平常心であり、自己確立への道ではないだろうか。教範に精神修養とは、「自我即ち己の魄を修め、霊性である魂を養って、人が霊止としての働きを全うするように、修行すること」を言っている。他人のことを思うとき、他人からの見返りは考えないし、他人の目を気にしない。「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」は、人間の生きる道を深く言い当てている。単に自己確立と自他共楽のことであるといってしまうのではなく、深い思いやりや優しさが詰まった言葉である。

少少林寺拳法と出会ったのは小学4年生のときです。父が行った地域のお祭りのステージで見た有段者の演武に憧れました。「私もやりたい」と思い入門しました。それから5年、途中何度も「やめたい」と練習をさぼってしまったり、難しい技に苦戦したりしましたが、何とか今日まで続けてこれました。

それは、技を一つ覚えるたび、大会で演武を披露するたびに自分が成長していくような気がして、「もっと上手になりたい」「あのメダルが欲しい」と思うようになったからです。

憧れに近づく!?

振り返ってみると、少林寺拳法を通して私には、先生との出会い、仲間との出会い、そして言葉では言い表せない程大切な時間や体験がありました。

日本武道館の全日本少年少女武道錬成大会で若葉記者として取材活動を経験し、今年は日野市こどもまつりの演武発表、市民体育大会少林寺拳法演武大会では拳士宣誓をしました。思うと、何気なく見ていたお祭りのステージが少林寺拳法との出会いでしたが、今は観客に見てもらう側になりました。カッコいい演武を見せて、新しい仲間と出会うことができればいいな。

(多摩豊田道院・村田百・13)



イラスト/大原由帆子

投稿大募集 道場や拳士のちょっとした話を募集しています。
※ペンネーム可ですが、必ず、名前、所属、連絡先もご記入ください。
なお、原稿内容の整理・編集をさせていただきます場合があります。原稿の選択はご一任ください。〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5 東京別院 広報誌担当宛 TEL.03-5961-1400 FAX.03-5961-1401 e-mail: aun@shorinjikempo.or.jp

Shorinjikempo-Meeting in 美作 ～レディース・ファミリー～

【テーマ】 Shine yourself ～変わる自分を信じよう～

【主催】 少林寺拳法グループ

【日程】 2011年4月2日(土)12:00～17:30

【場所】 宮本武蔵顕彰 武蔵武道館

【参加対象】 本行事に興味のある方ならどなたでも参加できます。

(館内への入場はチケット制となります。)

テーマ趣旨: 少林寺拳法は、自己の可能性を信じ、今日の自分よりも明日の自分をどのように輝かせ(shine)ていくかという将来への自己変革ビジョンを描きます。その少林寺拳法を手段として自己の存在価値を認識し、「一人ひとりが輝きを放てる人間になろう!」「そのための努力を続けよう!」という願いが込められています。女性がいきいきと自分らしく輝くことで、周りの人を、そして社会を明るく元気にすると考えています。

参加型イベントを募集!

詳しくは少林寺拳法公式ウェブサイト。

【お問い合わせ事務局】 Shorinjikempo-Meeting in 美作 実行委員会 0877-33-1010(担当: 倉本 内線127)

宗門の行としての少林寺拳法



Ryuka Ken, Konoha Gaeshi
りゅう かけん この は がえし
龍 華拳 木葉 返

木葉返は、相手の四指の逆を丁字手にして捕って、投げたり吊り上げたりする仕掛けの技法である。木葉は決して強く握りつぶさず、相手の体に力を伝える接点として、まず相手を一本足(片足荷重)の状態にさせて、すかさず四指→手首→肘→肩の順に関節の遊びを取って、回転させて投げるのがコツである。

撮影／近森千展 文／飯野貴嗣 演武者／守者：川島一浩 正範士七段 攻者：飯野貴嗣 大拳士六段

表紙▶河合 修 愛知県出身。日本を代表する写真家・藤井秀樹氏のアシスタントを経て独立。2009年5月より「ダーマ」をテーマに、『あ・うん』の表紙撮影に取り組む。ホームページは「写真家 河合修」で検索！ 名古屋千種道院、中拳士三段。

..... よろこ
編集後記▶門信徒、拳士の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。▶今年は「開祖宗道臣生誕100年」として大きな節目の歳であり、生誕地である岡山県美作市に於いてのイベントも予定されています。▶開祖の志を正しく受け継ぎ、正しく受け渡す大事な年です。そのためにも新年度よりの「組織機構改革」実施に、心機一転正面から取り組んでいく所存であります。(あ)

金剛禅総本山少林寺オフィシャルサイト
<http://www.shorinjikempo.or.jp/aun/index.html>

2週ごとに更新される代表メッセージをはじめ、金剛禅布教活動に役立つコンテンツを段階的に充実させていきます。また、「宗門の行としての少林寺拳法」を動画でご覧いただけるほか、誌面に掲載仕切れなかった記事・写真も掲載されています。

少林寺拳法

検索

発行人：浦田武尚 発行所：金剛禅総本山少林寺 〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48 ☎0877-33-1010 <http://www.shorinjikempo.or.jp>

編集人：秋吉好美 企画・編集：金剛禅総本山少林寺東京別院 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5 ☎03-5961-1400 e-mail aun@shorinjikempo.or.jp

金剛禅総本山少林寺広報誌『あ・うん』 2011年1月1日発行(奇数月1日発行)通巻第14号 印刷・製本：(株)ブル・ドック

※本誌の発行に掛かる費用には、SHORINJI KEMPO UNITY によるライセンス事業の収益金が活用されています。

※現在、広報誌『あ・うん』を1道院につき10部ずつ(財団支部は1部ずつ)、毎号ご提供させていただいております。更に追加をご希望の方は本山宗務部にお申し出ください。

(追加1部につき50円を口座引き落とし・送料別途要)TEL.0877-33-1010 e-mail fukyoka@shorinjikempo.or.jp



SHORINJIKEMPO